

## 素敵な人生    素敵なパートナー

「合志市男女共同参画まちづくり条例」を市民一人ひとりの行動指針に



男女共同参画推進  
懇話会委員  
今村 豊

平成19年11月1日、「合志市男女共同参画まちづくり条例」(以下、「参画条例」)施行。思わず“万歳!”と叫んだのは、わたし一人? 参画条例の成案に関わられた方々はもちろん、日本のこれからを考えている人たち、暮らしの中での男・女の有り様に思惟を深めている皆さんは、同じ感慨を分かち合ったことでしょう。人を大切に、人を尊び、人と共生する社会を創る糸口に、また世界に類を見ない「少子高齢化社会」に対応できる、環境づくりのきっかけになることを願っています。市民各人が参画条例の制定者であり、同時に、施行者であると認識して、合志市の「男女共同参画社会」の実現に向け、積極的に行動したいものです。

参画条例と、わたしのご縁は平成16年4月、「西合志町男女共同参画推進懇話会」の委員を委嘱された時に始ま

ります。妻を亡くして20年を経ていましたが「死」を介して、家庭内の男・女のあり方を考える程度の愚者でした。家庭での量的、時間的、精神的な女性の負担の大きさを、やっと体験的に知りました。同時に、職場や地域での男・女の有り様にも「おかしい、間違っている。変わらなきゃ…」ということにもたどり着きました。このことを、わたしと同じような「わからない父さん」に、以心伝心お伝えし、「お役に立てば…」と願って、つたない経験をいろいろな機会に駆使しています。

特に、平成16年10月、愛媛県松山市で開催された「日本女性会議」で、福岡県福津市等先進自治体の取り組みに感動、参画条例の草案作りにも参加の機会を得、しかも、参画条例制定・施行直後の「いっば」の投稿の機会にも恵まれ、至福の極みです。

参画条例が、男性と女性、お互いに「人」として尊重され、個性と能力を生かして「子育て日本一」の合志市となる礎となり出発点となり、さらに行動の指針となるように願いつつ、さらなる学習と実践に努めます。



Marc Waterfield  
(マーク・ウォーターフィールド)  
出身地: カナダ  
ノバスコシア州  
ハリファックス市

市内各学校でALT  
(英語指導助手)  
として子どもたち  
に英語を教えています。

ちょっと

# CHAT time

Hello Koshi City, I hope everyone had a wonderful Christmas and New Year's Holiday. It is now February and the time has really gone by fast. I guess the old saying "Time flies when you are having fun" holds true for me for the year 2007 because it really flew by and I did have a lot of fun!

In February of last year I was involved in the Samurai Matsuri II Event that was held in Koshi's Vivre on the 14<sup>th</sup>. This was a celebration of the Japanese Spirit and there were performances of Wa Daiko (Japanese Drums) By Zi-pang and Shamisen by Takasaki Hiroshi. I was involved in the Martial Arts performance portion of the event. This was a very exciting experience for me and I was honored to be asked to take part in this celebration.

In May I took part in the 1000meter race at Nishigoshi Junior High School's Sports Festival. This was a humbling experience as I came in dead last again. But, everyone still cheered me on as I stumbled across the finish line unable to catch even my breath. Later I was presented with a photo of me taken at the beginning of the first lap. As I looked at this photo I realized again just how out of shape I was. It was because of that Sports Festival and that very embarrassing 1000 m race that I lost about 8kgs and shaped up in time for August.

In August I went to Norway to compete at the 9<sup>th</sup> Annual Chito-Ryu Karate Do Soke Cup World Championships. I was honored again to be a member of the Team Japan. This Tournament is held once every three years. You may remember that the first time I competed for Japan was in August 2004 and the Tournament was held in Australia. The highlights of this year's World Championships were mentioned briefly in the October 2007 issue. But, let me just touch on a couple of points that meant a lot to me. In addition to competing in individual events I also competed as a member of the Japanese Men's Fighting Team and Kata Team. We Won Gold in both events. This many of you may know but what makes these victories so special is that it has been 9 years since the Japanese men's team won the team fighting division and it has been 6 years since the Japanese men's team won team kata. As I stood on the stage accepting the championship along side my friends, many of whom had been standing across the line as my opponent in the years past I felt the impact of events such as these. The Captain of the team named me the "Green Eyed Samurai."

These are just a few highlights of how I spent my 2007. There were ups and downs and a lot of twists and turns in between but looking back I realize that I learned a lot, I made and strengthened friendships and I had Fun!

合志市の皆さん、こんにちは。皆さんは、素晴らしいクリスマスやお正月を過ごされたことと思います。時間が経つのは本当に早く、新しい年ももう2月です。昔から、「楽しいことをしていると、時間が飛ぶように過ぎる」と言いますが、実際にわたしの2007年はとても楽しく、飛ぶように過ぎていきました。

去年の2月14日、わたしはヴィーブルで開催された侍祭りⅡに参加しました。それは日本の心を賞賛するもので、Zi-pang (ジパング) による和太鼓の演奏や、高崎裕士さんによる三味線の演奏がありました。わたしは、格闘技の部に参加しました。それはわたしにとってとても刺激的な経験で、参加できたことを名譽に思いました。

5月には、西合志中学校の体育祭の1000メートル走に参加しました。ラストで力が尽きてしまい、恥ずかしい走りとなってしまいました。でも、息を切らしてゴールをするまで皆さんは応援してくれました。あとから、最初の1周目の時の写真を印刷しました。この写真を見てから、わたしはどれほど体型が崩れているか気づきました。体育祭の1000メートル走で恥ずかしい思いをしてから、8月までに、8キロやせました。

8月には、ノルウェーに行き、第9回千唐流宗家杯国際空手道選手権大会に参加しました。わたしは、再び日本チームの選手になったことを光榮に思います。この大会は、3年に1回開催されます。2004年8月にオーストラリアで開催された大会に、わたしが日本の選手として参加したことを覚えている人もいるでしょう。今年の世界選手権のハイライトは2007年10月号に書きましたが、そのほかにも感動した点が2点あります。個人戦にも参加し、わたしは日本男子の団体組手と団体形のチームにも参加しました。わたしたちは両方で優勝しました。なぜこれが感動したことが多くの方がわかるとは思います。これらの勝利はとても特別で、団体組手で日本男子が勝ったのは9年ぶり、団体形は6年ぶりだからです。友達と一緒に優勝トロフィーをもらったとき、今までライバルだった選手が同じチームで戦えたことで、国際大会の影響を感じることができました。チームのキャプテンがわたしのことを「緑目侍」と言いました。

これらが、わたしの2007年のハイライトです。良いことも悪いことも、楽しいことも辛いこともたくさんありましたが、反省してたくさん学び、これまでの友情を深めたり、新しい出会いもあったり、楽しい1年間でした。



竹迫初市(竹迫)

こうし  
歴史発見!

第11回



●問い合わせ先  
竹迫初市振興会  
(事務局 合志町商工会)  
☎248-0622  
合志市 商工振興課  
☎248-1115

毎年3月3日・4日に開かれる竹迫名物の一つです。  
竹迫初市の起源当時、商いには制限があり、だれにでも自由に行なえるものでありませんでした。宝永元年(1704)、藩主細川綱利公の許しを得て春秋御免の月に10日宛の「続市」が始まったという説と、宝暦7年(1757)、細川重賢公が竹迫町に「六斎市」を許したという説の2つがありますが、いずれも限られた間だけ開くことができます。「日切市」と言われるもので、明治になって廃れてきたのを当時の商店主達が再興を計り、竹迫地区を中心に、3月3日を挟んで前後3日間行なっています。住民はこの日を待ちわび、1年分の生活用品、衣類・茶碗・農具等を揃え、杉・檜・クヌギ等の植木市も立ち、これらを売る出店も軒を連ねました。また、各方面から募ったあめや菓子等の製造販売業者が威勢のよい掛け声で活気を添え、時には芝居、サーカスも興業を行なうなど、大変な賑わいをみせました。  
今年は3月3日の1日のみ、午前9時から午後5時まで農協・合志中央支所前で開催される予定です。

## 高齢者などの消費者被害防止 地域で見守りましょう

県内の高齢者からの相談は、架空請求や消費者金融のほか、布団や健康食品、健康器具など健康不安につけ込んだトラブルが多くなっています。

また、消費者被害は、自宅やハイハイ学校など人目につきにくいところでおきています。

地域の皆さんが見守る(気配り、目配り)ことで被害を素早く察知し、未然に防止することができます。何かあったら、すぐに相談しましょう。

### 高齢者の見守りのポイント

- ①県外ナンバーなど普段みかけない自動車が来ている。
- ②自分の家に訪問販売業者のセールスマンが来た。
- ③タダで景品をあげるのに集まるように誘いに来た。
- ④家に今まで見かけなかった品物がある。
- ⑤日ごろから一人暮らしのお年寄りに声をかけ、悪質な訪問販売などに気をつけるよう、また被害にあったらすぐに相談するように話しておく。



ハイハイ学校

### ●相談・問い合わせ先

合志市消費生活相談窓口  
(合志庁舎・総務課) ☎248-1112  
熊本県消費生活センター ☎354-4835

## ほっとタウン 地域でがんばるお店を紹介します♪

### 国産大豆にこだわる豆腐 松田豆腐店

創業59年の、代々続く手造り豆腐店。

安心・安全、地産地消を大切に、国産大豆にこだわるのは3代目 松田博昭さん。

出来たての美味しい豆腐を食べてもらうため、朝は3時頃から作業開始。

豆腐の食べ方をもっと知ってほしくて販売を始めた「白和えの素」「豆腐ハンバーグの素」は口こみで人気をよんでいます。「共働きで忙しい現代に、ひと手間加えれば美味しくヘルシーなものができる、食の提供がこれからもできれば」と話す松田さん。

現在は、主にユーパレス弁天や菊池のまんまなどで販売されています。



今後は、工場でも出来たてを販売したり、もっと豆腐の美味しさを知ってもらえるような豆腐料理のお店をしたりできたらと、まだまだ夢とこだわりは続きます。



多くのファンを持つ「野々島とうふ」  
イチオシ商品 くすかけ豆腐  
人気沸騰中「白和えの素」

松田豆腐店  
野々島4945  
☎242-0783